基礎からわかる
地震のメカニズムと予測

（９）北海道・三陸沖後発地震注意情報

加藤尚之
東京大学地震研究所

北海道・三陸沖後発地震注意情報とは

- **日本海溝・千島海溝沿いの後発地震**（**※発生確率は1/100程度**）に注意を促すため最初の地震発生後に発表
- **事前避難を呼びかけるものではない**

発表の流れ



想定震源域及びその周辺でM7.0以上の地震発生

北海道・三陸沖後発地震注意情報を発表
（気象庁・内閣府が合同会見）

最初の
地震発生から
1週間

続いて発生するかもしれない地震・津波への
防災対応の呼びかけ

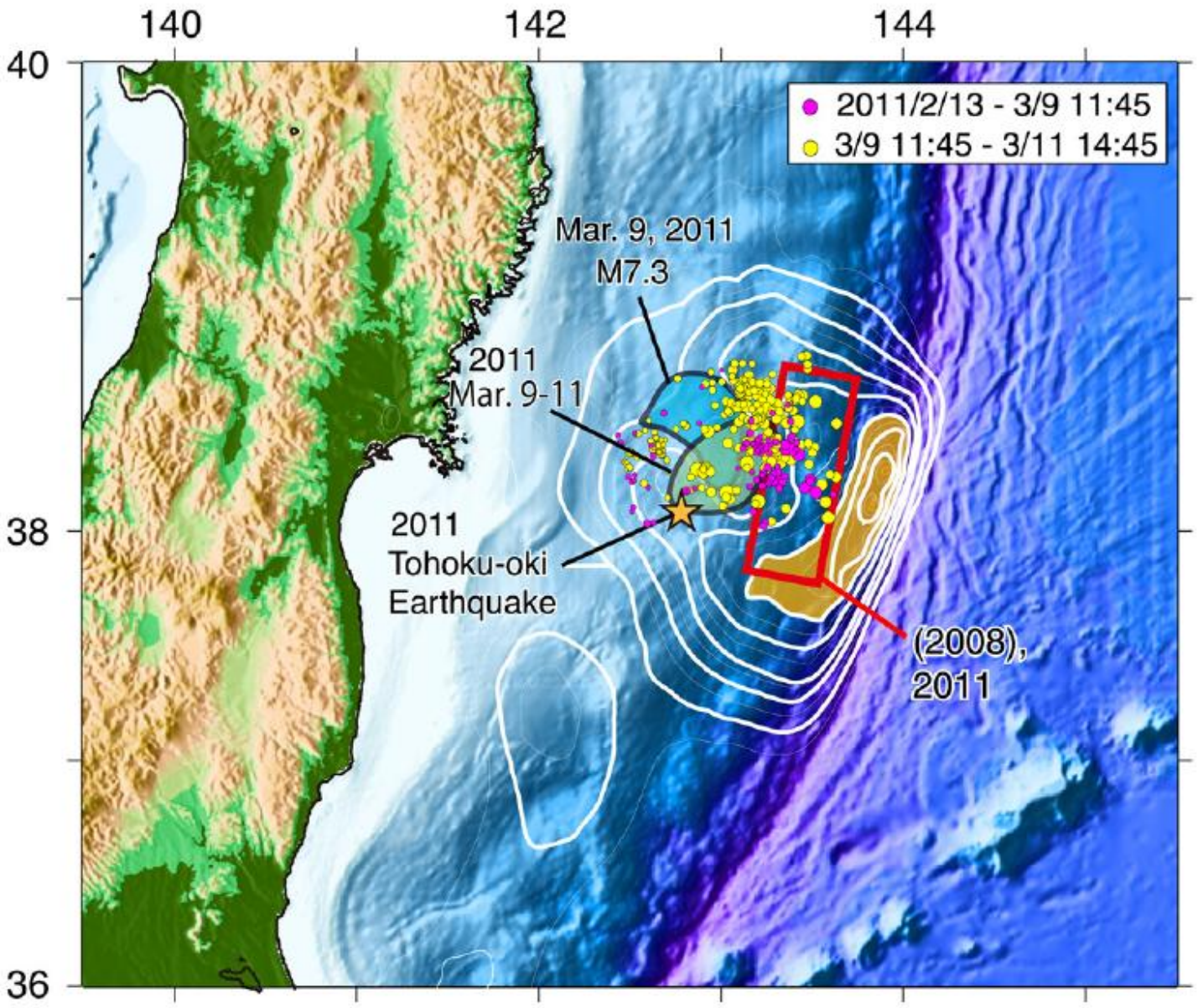
- **日頃の備えの再確認**
- **発災時にすぐ避難できる準備**

対象：地図の赤色エリア（津波3m以上または震度6弱以上が想定される地域等）

後発地震が発生しなかった場合も**日頃からの備え**は続ける

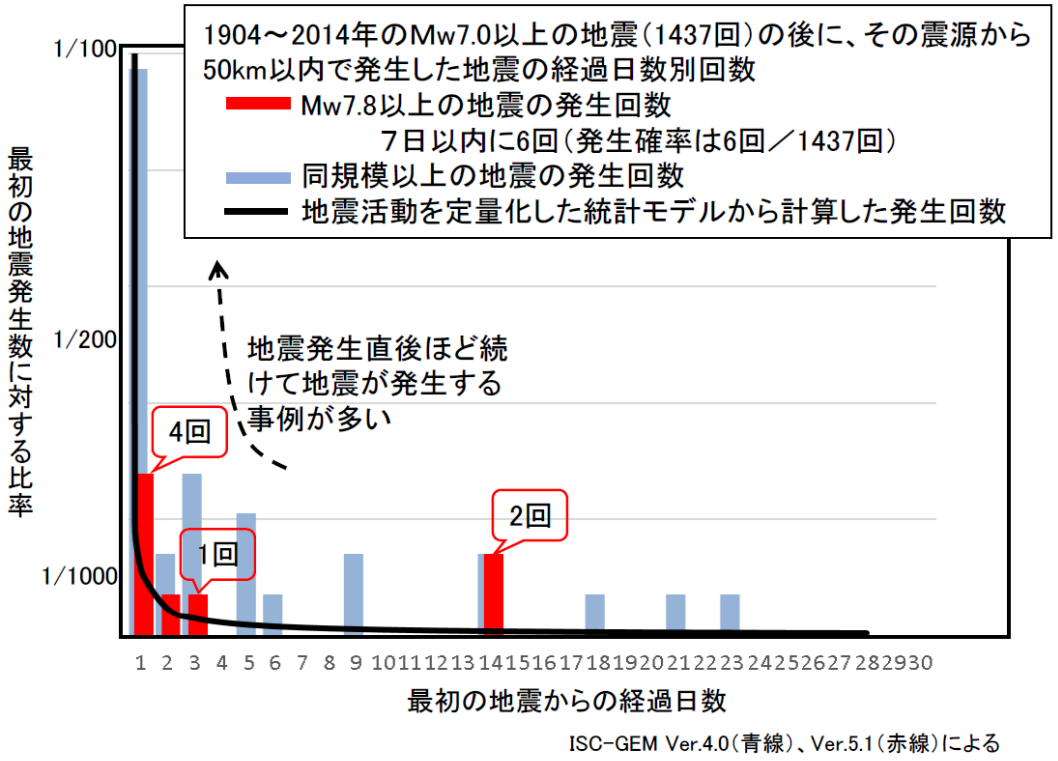
監修：内閣府（防災担当）、気象庁

Yahoo!ニュース
オリジナル



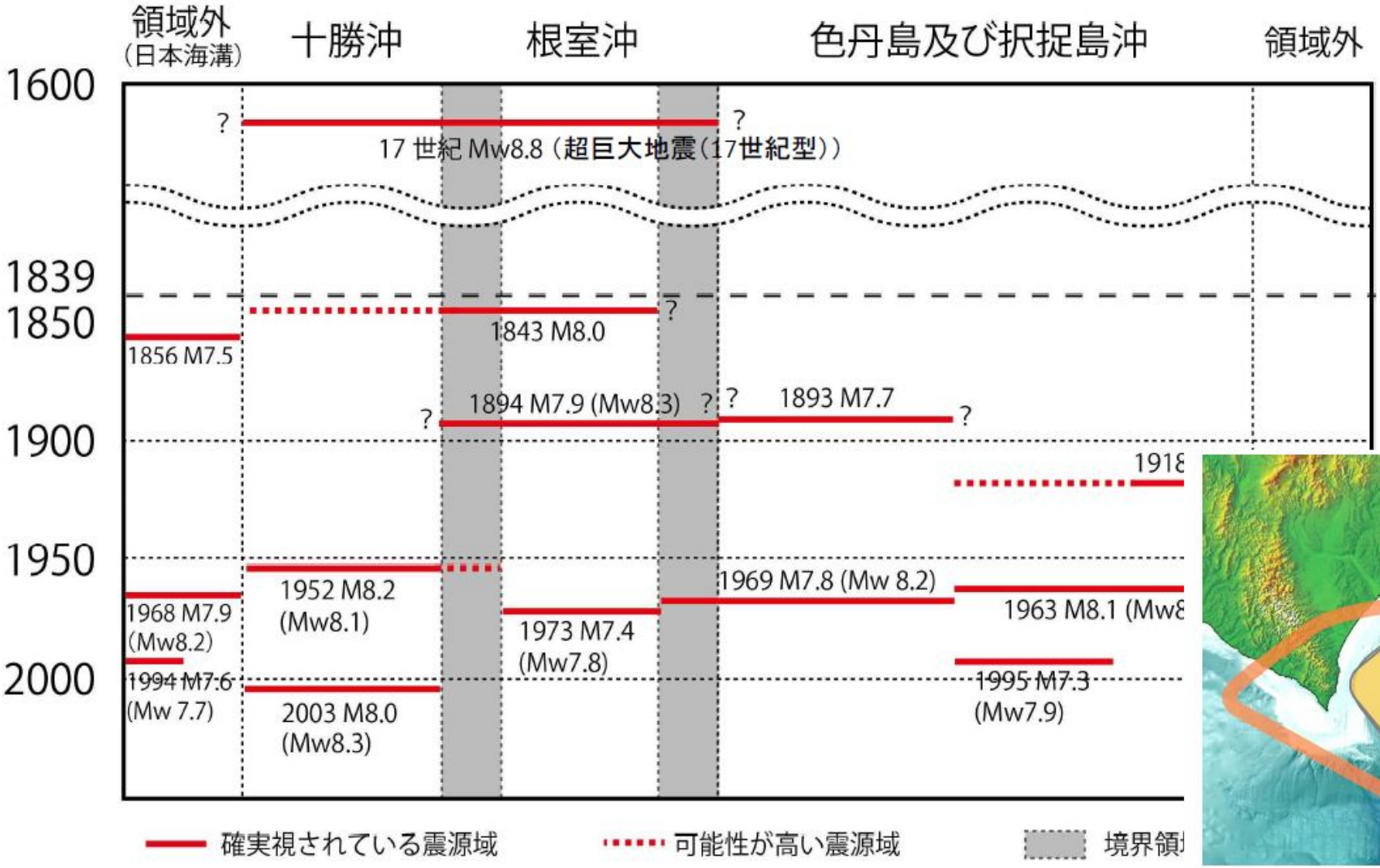
Uchida and Burgmann (2021)

大きい地震は続けて発生する傾向がある



気象庁資料

千島海溝沿いの巨大地震





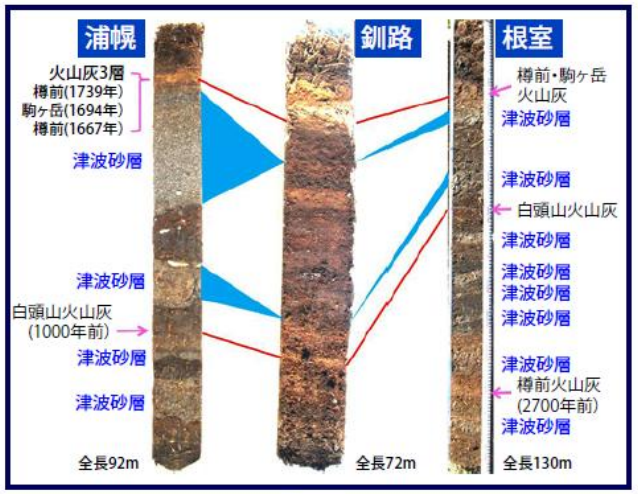
十勝沖・根室沖で発生したプレート間巨大地震の津波波源域
（Satake et al. 2006 およびTanioka et al. 2004, 2007 を使用）

地震調査研究推進本部

千島海溝沿いの巨大地震

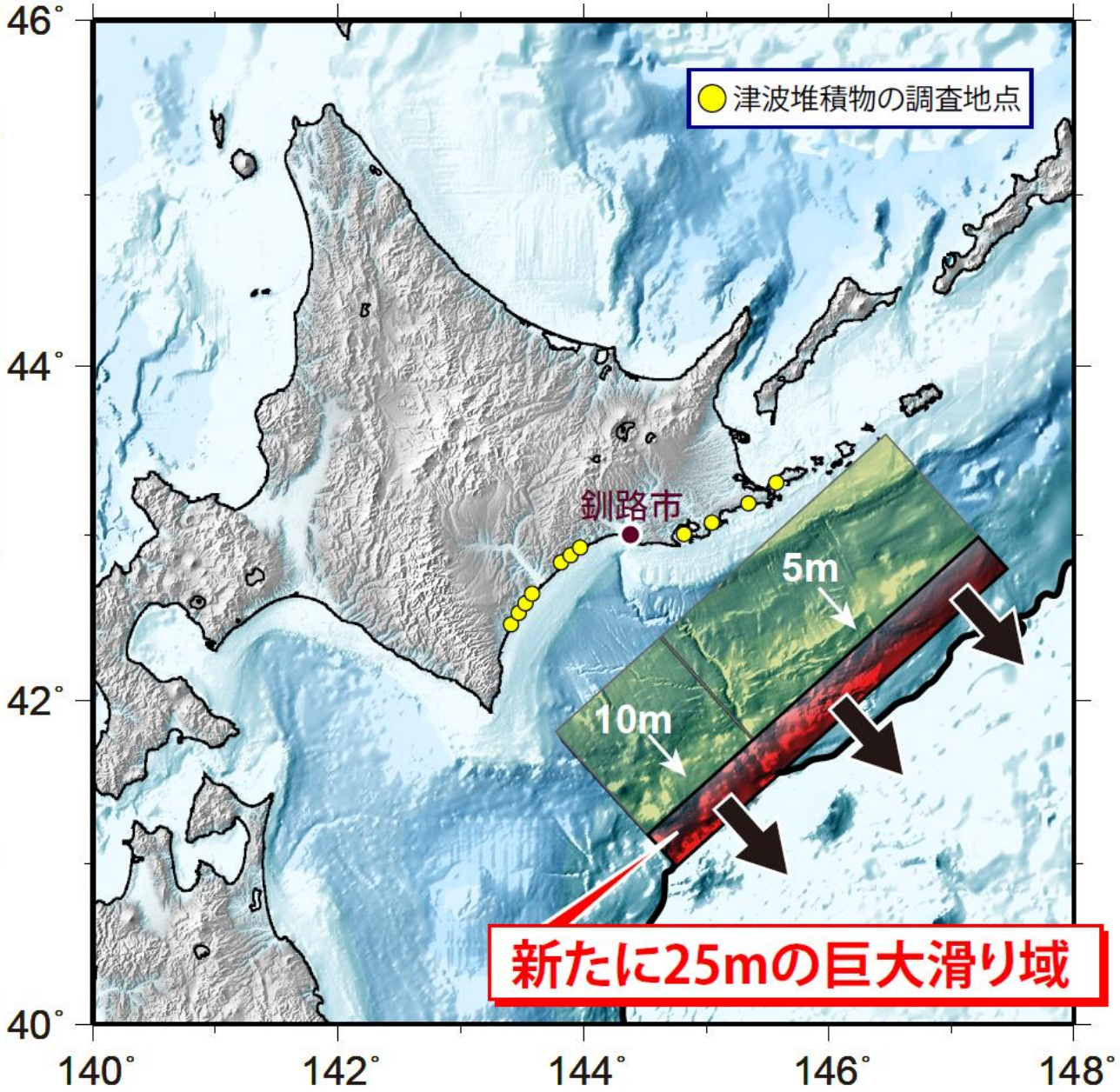
北海道太平洋沖17世紀の巨大地震の断層モデル

最新の津波堆積物調査



プレート境界浅部にて25mにも及ぶ巨大滑り

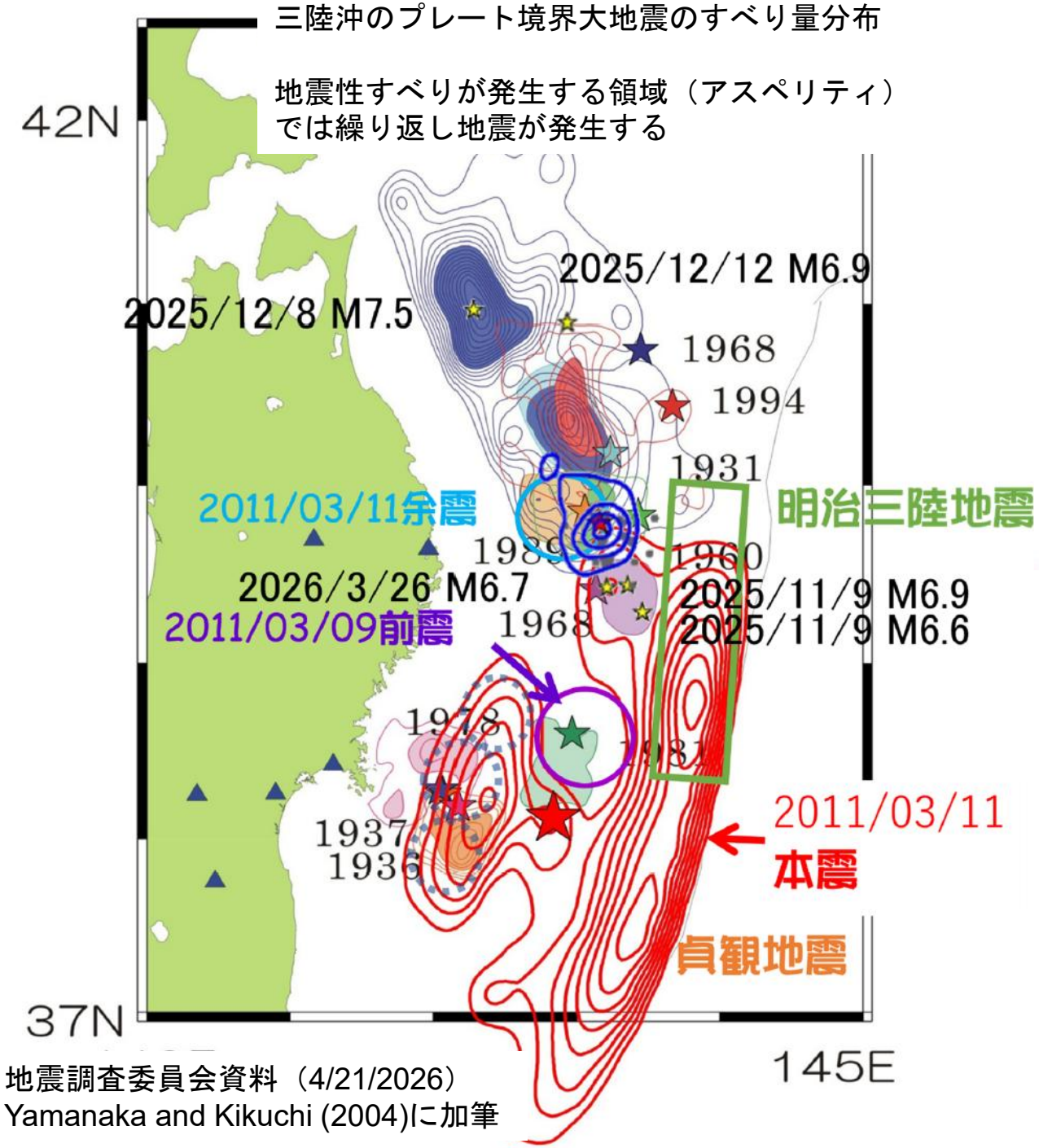
Mw8.5 ⇒ Mw8.8



科学技術・学術審議会測地学分科会「成果の概要」より

三陸沖のプレート境界大地震のすべり量分布

地震性すべりが発生する領域（アスペリティ）
では繰り返し地震が発生する



地震調査委員会資料（4/21/2026）
Yamanaka and Kikuchi (2004)に加筆



気象庁

